



松山台



よく考える人になろう・すすんで働く人になろう・ともに助け合う人になろう

「2学期のご協力に感謝いたします」

2学期も終了いたします。保護者の皆様の学校の活動に対するご理解とご協力に感謝いたします。3学期もどうぞよろしくお願ひいたします。

12月全校朝会（12月1日）での校長の話を紹介します。

デフリンピックに難聴学級の生徒と一緒に行き、バレー ボールの試合を観戦してきました。そこで印象深い場面がありました。

デフリンピックでは、国際大会ですので試合前に国歌が演奏されます。そのとき、両チームの代表選手が2名ほど前に出て、手話で国歌を歌いました。

アメリカ国歌の歌詞は、戦場の中でも星条旗がはためき続ける姿を描いています。私は手話で歌う選手の動きを見て、その意味が自然と伝わってくることに驚きました。旗を力強く掲げる仕草、胸に手を当てる動作——言葉が分からなくても、誇りと覚悟が手話を通して伝わってきて、本当に胸が熱くなりました。

また、会場では「手話での応援」も学びました。しかし実際には、アメリカの応援団は「USA！ USA！」と大声で叫び、トルコ側も大きな声で選手を励ましていました。デフリンピックだからといって“声を出してはいけない”ということは全くないので。聞こえる・聞こえないに関係なく、気持ちを込めて応援する。その真っすぐさは、選手たちに確かに届いていました。バレー ボールは声を出すスポーツです。相手と接

触はしませんが、9m×9mという限られたコートの中で、声の情報が勝敗を左右します。聞こえない状況でのプレーは、仲間の位置もわからず、接触の怖さが常にあるはずです。それでも選手たちは工夫して、仲間と支え合いながら戦っていました。私はその姿に、スポーツのもつ力、人と人をつなぐ力を強く感じました。

2月4日～12月10日は「人権週間」です。開進第二中学校は50年以上、人権教育に取り組んできた「人権尊重教育推進校」です。10月から11月にかけて、すべての先生が自分の教科や道徳、総合の時間などで人権について扱う授業を行いました。皆さん、そこで学んだことを覚えていますか。

人権尊重の一番大切な考え方は、「自分も、他人も、大切にする」ことです。どちらか一方ではありません。どちらも大切にする。他人だけでなく、自分もです。

課題とは、解決すべき問題のことです。東京都では17の人権課題を示しています。人権課題には、昔からあるものもあれば、新しく生まれたものもあります。「インターネットやSNSに関する課題」などは、20年前には存在しませんでした。人権課題を解決しようと、命を削る思いで取り組んできた人たちがいます。私たちは、その努力の上に立って暮らしています。

私はいくつか人権の授業を参観しましたが、皆さんは課題解決のために良い意見をたくさん出し

ていました。皆さんにとって身近な情報モラルの授業では、「よく分かっているな」と感心する意見も多かった。

皆さんにとって、人権課題として最も身近なのは、やはり「いじめ」の問題でしょう。いじめについての授業をしたら、皆さんから良い意見が出るのを知っています。

だからこそ私は思います。

——こんなに分かっているのに、なぜ問題が起き続けるのか。

このことを、ぜひ真剣に考えてほしい。

最後に、一つだけ強く伝えておきます。

人権に関して「おかしいな」「これは違う」と感じたら、見て見ぬふりをしないでください。勇気を出して声を上げてほしい。自分を守るためにも、周りを守るためにも、あなたのその一歩が大切です。

校長 平野 茂

冬季休業中の教育相談窓口について

冬季休業中も夏季休業中と同じように、教育相談についての相談先をお知らせいたします。必要な際にはご相談ください。

多くの相談窓口があります。本校のホームページの「困ったときは…」をご覧ください。練馬区、東京都、文部科学省などが運営している相談先を紹介しています。

冬季休業中の緊急時の連絡について

冬季休業中の平日 8:15～16:45 は学校にお電話をいただければ連絡がつきます。土・日・祝の緊急連絡は、内容に応じて警察等の外部機関への連絡をお願いします。学校へは改めて冬季休業中の平日の受付時間内にご連絡ください。併せて緊急連絡用 Google フォームの相談窓口もご活用ください。

緊急連絡用 Google フォーム (12/27～1/4)

<https://forms.gle/scmHhWsXGL9Mnk5w5>

また、学校からは必要に応じてホームページを通じての連絡や、sigfy を活用しての連絡もいたします。

(12/27～1/4は学校閉庁日となります)

冬季休業中の安全に十分お気を付けください

長期休業日は、学校生活では得られない様々な体験ができる機会ですので、ぜひ、貴重な体験をしてもらいたいと思います。冬休みのしおりをお子様と一緒に読みいただき、冬季休業中の過ごし方について、次の 3 点を踏まえてご家庭でもお話しください。

- ① 冬季休業日の意義を十分に理解し、心身共に健康で安全に生活する。
- ② 家族や社会の一員として、人権尊重と規範を守る意識をもって生活する。
- ③ 希望と意欲をもって、冬季休業日後の学校生活を迎えるようにする。

感染予防に努めることはもちろんですが、思わぬトラブルが起こることもあります。お子様が出かける際には、交通安全の遵守や金銭の注意などご指導ください。インターネット機器での SNS 等の使用について、練馬区 SNS ルール及び開進二中 SNS ルールなどを活用してお子様とご確認ください。どちらも本校のホームページに掲載しております。

(3 ページに掲載している情報リテラシー チェックシートもご活用ください。)

様々なところで活躍！

部活動の活躍については「開二中の生活（生活指導だより）」にてお伝えしていますが、様々なところでの生徒の活躍を紹介します。

税の標語

3年 菅 優音
全国間税会総連合会 佳作
【キャッシュレス
いつでもどこでも スマート納税】

が、無意識の偏見につながっていることを、具体例を通して指摘していました。性別で判断せず、一人の人として向き合う姿勢の大切さを、中学生自身の言葉で力強く訴えていました。

税の作文

3年 中村 太一
東京税理士会練馬東支部 支部長賞
【広く長い視点】

幼いころは無駄だと思っていた緑地が、自然保全や地域交流、既存資源の有効活用として重要な役割をもち、これらは税金で支えられていると、職場体験を通して知りました。身近に感じにくい税金の価値も、広く長い視点で考え、使われ方に関心をもつ大切さを訴えました。

2年 梶野 穂乃

【さまざまな人と共生していくために】

駅での出来事を通して、外国人に対する偏見や差別が日常の中に潜んでいることに気付いた体験を基にした意見文でした。法務省の意識調査の結果を引用し、問題を客観的に捉えながら、偏見が生まれる背景について考えていました。国籍に関係なく一人の人間として接すること、共生社会に向けて自分ができる行動を考える姿勢が大切だと訴えていました。

2年 木舟 真奈香

【国境を越える食】

外国人との関わりを「特別なこと」とせず、誰もが社会の一員であるという視点から書かれた意見文でした。偏見は一部の経験や誤った情報から生まれることを指摘し、文化や言語を理解しようとする姿勢の重要性を述べていました。特に食を通じて理解を深め、差別のない社会につなげたいと訴えていました。

中学生意見発表大会

（練馬区青少年育成第一地区委員会主催）

2年 野村 花
【男女平等の社会】

世界のジェンダーギャップ指数で日本が低い順位にあるという新聞記事をきっかけに、身近な出来事や社会の現状を結び付けて考察していました。政治分野での女性比率の低さや、「男らしさ・女らしさ」といった固定観念

情報リテラシーチェックシートの活用について

（練馬区教育委員会 教育施策課から）
インターネットや情報機器は、今や日常生活に欠かせないものとなっています。特に近年は、

SNS や動画サイトだけでなく、生成 AI などによる情報も増え、誤った情報や偽の画像・動画が広がるケースが問題になっています。「情報を正しく活用していく力（情報リテラシー）」を身に付けるようにすることが大切です。

教育施策課では、情報リテラシーや情報機器の利用について、ご家庭で話し合うきっかけづくりとして、「情報リテラシーチェックシート」を配信しています。

お子様が安全で適切に利用できるようになるためには、ご家庭での話し合いが大切です。ぜひご活用いただき、お子様と一緒にルールやマナーについてご確認ください。

▼チェックシートはこちらから

<https://logoform.jp/form/G2rU/191765>

- ※ URLのリンクは、タブレットパソコンのブックマークにも掲載しています。
- ※ ご回答いただいた内容は、練馬区における情報モラルに関する事業の参考として活用させていただく場合がございます。

学校評価アンケートへのご回答 ありがとうございました

11/24～12/5の期間に約半数のご家庭から回答をいただきました。アンケートへの協力依頼について、周知できていなかった点があったと考えています。より多くのご家庭からご意見をいただきため、来年度はリマインドを行うなどし、回答率の向上に努めてまいります。

今年度いただいた内容はこれから分析し、来年度の教育活動へ活かしてまいります。

アンケートの回答は締め切りましたが、お気付の点はいつでもご連絡ください。